



お元気ですか

平成30年11月

認知症の人と接するときに大切なこと！！

認知症の人を支援しようとあせらずに、まずはコミュニケーションを深め、関係を築くことが大切です。認知症の人とのコミュニケーションのとり方と、行動・心理症状があらわれたときのかかわり方のヒントを紹介します。

コミュニケーションを深めるためのポイント

ポイント1

ひとりの人としてふつうに接する

- ・認知症の人という先入観や偏見を持たず、その人自身を見る。

ポイント2

自尊心を傷つけない

- ・ちぐはぐな言動がみられても、否定したり訂正したりしない。
- ・弱者扱い、子ども扱いしない。

ポイント3

笑顔で楽しく

- ・笑顔と優しいまなざしで、楽しい雰囲気づくりを。
- ・本人を緊張させ、おびやかさないように、関わるほうが力を抜く。

ポイント4

視野に入って話す

- ・近づいて本人の視野に入ってから話す。
- ・本人を上から見下ろさず、できるだけ姿勢を低くして接する。
- ・本人の目を見て話す。

ポイント5

聞こうとしている姿勢を示す

- ・言葉がうまく出なかったり、ちぐはぐなことを言ったりしている場合でも、うなずきやあいづちをして、こちらが受け止めていることを伝える。

ポイント6

なじみのある言葉を使う

- ・本人がよく口にする言葉や方言など、本人がなじんでいる言葉を使う。



ポイント7

ゆっくりとひとつずつ話す

- ・本人が受け止め、考え、反応を返せるように、ゆっくりとしたペースで関わる。
- ・一度に多くのことを話すと混乱する。情報を伝えるときには、短い言葉で順を追ってひとつずつ話す。

ポイント8

本人に必ず聞く、たずねる、確かめる

- ・周りが決めてしまわずに、どうしたいかを本人に聞く。言葉が出ない場合でも、たずねてみて反応を確かめる。

認知症サポーター

認知症について正しい知識を持ち、認知症のかたやその家族を暖かく見守る応援者のことです。

「認知症サポーター養成講座」を受講すれば、どなたでもなることができます。詳しくは地域包括支援センター

(TEL44-5091) まで。

坂出市母子愛育会